

大石田小学校6年生が議会を傍聴

12月定例会5日目(12/14)に、大石田小学校6年生22人が議会を傍聴しました。少し緊張した面持ちでしたが、熱心に議論に耳を傾けていました。紙面の都合上、要約した感想を全員分ご紹介いたします。

遠藤宏司議員の一般質問を聞きました
◆河川改修の現状と今後の課題について
9ページ参照



真剣な表情で

河川改修の現状と今後の課題についてたくさん質問をしていてすごいと思いました。ほくちも委員会活動をしています。町長さんや議員さんのようにすばやく受け答えするのは、できないと思います。質問する人も60分間質問できることを知り疲れないのかと思いました。

延藤 孟生 (のぶたけ もとむき)

国会のようなイメージをしていたので、とても静かだと思いました。時間ぴったりに始めるのも驚きました。町長さんは質問の答えを丁寧に答えていて、長い質問にも集中して聞いていて、あこがれの気持ちを持ちます。質問する人も町の人のためにすごいと思いました。

西尾 大路 (にしお ひろみち)

議会を見て話しをまとめるのはとてもいいことだと思います。静かな雰囲気です。緊張しました。話し合いの内容は小学生でもわかりやすいように話してくださったのでうれしかったです。授業の中で議会を見るといいのはすごい経験だと思います。

桐井 愛士 (きりい まこと)

話の内容が難しく理解できないところがたくさんあり、頭が混乱しそうになりました。初めて議会を見たから追いついていけないだけだと思います。また次の機会があれば、話についていけるよう内容を考えながら話を聞きたいです。

近江 祐音 (ちかえ ゆいね)

議会を傍聴して、議題は7月に起こった豪雨の対策などについて意見が具体的でした。対策として最上川の川岸にある木を伐採するそうです。木があると水の流れる速度が遅くなり水があふれてしまうという事もわかりました。内容は難しかったけれど、説明がわかりやすく理解できることも多かったです。

常盤 周 (とこひらむ ちゅう)

初めて議会を見て思ったことは、大人の話し合いに対する真剣さです。町のことや町民のことを時間をかけて話しあっていました。初めは「一人の質問時間60分もある」と驚きました。見させてもらったおかげで大石田町民は安全にいられると思います。

稲垣 悠真 (いながき ゆま)

町民の要望に応えるために、長い時間話し合っているという事に町民に対する気持ちが伝わってきました。町づくりに対してもっと良くしていこうという気持ちを実感することができました。町と県や国とが協力していることに驚きました。これからは町のことを考えて生活していきたいです。

村岡 大 (むらおか だい)

自分たちの話し合いに比べて議長にかけられたらすぐに発言し、その意見の内容もはっきりしていた。質問を聞きいろいろな場所で洪水対策が施され、その場所でのようなことが起こったかもわかって非常に勉強になりました。

斎藤 由琥 (さいとう ゆうこ)

議会を見てとても緊張しました。ほくちたち大石田町民のためにとてがんばっていることを知りました。7月豪雨など色々なことについて話し合われていることがとてもすごいことだと思います。少し難しかったですが、これからはがんばってください。

青柳 爽介 (あおやなぎ そうすけ)

議会を聞いて感じたことは、話を進めるのが上手です。スムーズだということです。学校の委員会では考えたりする時間をとるのですが、議会では質問されたらすぐ答えていました。おどろいことが、質問する時間が60分もあるということです。今日の話聞き、ほくちも誰かのためにがんばれるようになりたいです。

早坂 湊友 (はやさか みなと)



感染症対策を万全にして来てくれました

7月の最上川のはんらんによる対策を議会でたくさん話し合われてることにおどろきました。議会の話によって大石田町が守られていることも改めて感じました。これからも議会を通して大石田町を守ってほしいと思いました。

落合 彩紅 (おちあい さいこう)

最上川の近くにある大石田町は絶対に安全だといえる場所が少なく限られているので、事前に避難場所を確認することが大事なのだと思いました。町民全員が安心して暮らしていくために町、県、国の対策を伝えることも大切だと思います。それぞれの市町村との協力が大事だと思います。

榎本 陽咲 (えのもと ひろさき)

一つの質問でもどんな深くまで考えていって、ふだんは考えないようなことが次々に話し合われていたのです。すごいと思いました。質問に答える人もすぐ対応していたので頭を回転させて考えているのだと思いました。毎日安全に暮らせるように考えてくださり幸せです。

村上 美月 (むらかみ みづき)

話し合いが少し言い争いに見えました。でもみんなの代表でいるからそだと思えます。環境破壊にもなるけど木を切つて水の流れを速くするという事は、私も納得できました。前もって対処方法を考えていることもありがたいと思いました。自然災害はいつくるか分からないので少しでも安心して暮らせる町にしてほしいです。

石山 夢望 (いしやま ゆめぼう)

一番すごいと思ったのは、止まることなく質問や意見を言っていた事です。一人一時間、それを毎回人も話し合っていることを知り、だから私たちが安心して暮らせるのだと実感しました。難しい課題にそって、効率的な意見を出し、質問をしながら考えていく話し合いの仕方とても勉強になりました。

大山 詩心 (おおやま ししん)

議題が7月豪雨のことだったので分かるところが少しありました。災害が起きると修理や対策など色々なことに気を配らないといけないのだと改めて思いました。これから大石田町をもっとよくしていくために議論していきましょう。

東海林 あや (とうまいる あや)

私たちがいつもやっている話し合いとはやり方がちがうところがたくさんありました。町議会では意見の出し合いではなく質問する人と町長さんだけでいたり、一人の質問時間が決まっていたり、おどろくことがたくさんありました。話し合われている内容は勉強になりました。

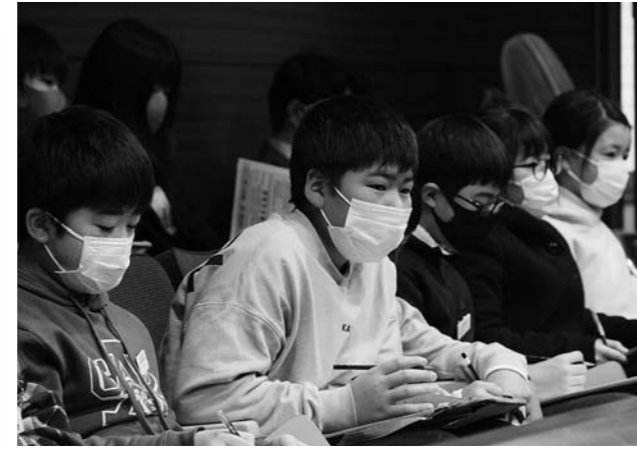
鈴木 心結 (すずき こむすぶね)

私は避難の仕方について共感しました。災害が起きて自分自身で自分で守ることが大切だと思いました。ハザードマップを見て避難場所を確認して、どこを通っていけば安全に移動できるかを親と話し合いたいです。同じことが起きて冷静に対応していきたいと思いました。

森 優希愛 (もり ゆきあ)

長い時間をかけて話し合っていて、質問する人に分かれて意見を言っていたので分かりやすかったです。質問の内容で豪雨の対策をみんな質問合っていて豪雨や水没が起きないようにこんな努力をしていって知りました。

寺崎 ひなた (てらさき ひなた)



その目に大石田町の将来を任せたい!



難しい話題でも真剣に聞いています

様々な問題があり、それを解決するためにどんなことを行おうのかなどをしっかりと伝えなければならぬので大変だと思いました。質問に対しての答え、考えを重なる議論をしていくことは初めて知ることができました。とてもはくりよくあっておどろきました。

高橋 のぞみ (たかはし のぞみ)

今年の豪雨のことは、私はもう終わったと思っていました。しかし大石田町では終わっていませんでした。今どのような状況なのかを知ることができました。少し難しいところもあったけど、勉強になったので見学することができて本当に良かったです。

田中 心菜 (たなか こころ)

議会に対するイメージは机をたたいたり争ったりすることだと思っていました。しかし実際には議長が発言を取りしきり意外だと思いました。町長さんが「情報を知らせる安心に暮らせるようにしていきます」という発言をしていくことに感心しました。

高橋 梨央 (たかはし りお)

7月豪雨災害に関する一般質問で、少々難しい質疑に戸惑いながらも、真剣に聞き入り一生懸命にメモを取っていました。議会そのものに関心を持ったという感想もあり、ぜひその意欲を継続してもらいたいと願うところです。

【記 岡崎】